

育成を目指す資質・能力（単元）

- （知識・技能） 原材料の確保や製品の販売などについて、地図帳や諸資料などを調べ、貿易や運輸が、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解する。
- （思・判・表） 交通網の広がりや外国との関わりに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、事象を相互に関連付けるなどすることを通し、運輸や貿易が工業生産の役割について多角的に考察し、表現する。
- （学びに向かう力等） 日本の工業生産や資源に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度や、今後の我が国の発展や将来を担う国民としての自覚を養う。

ICT活用のポイント

視点を絞った資料の提供と、個の考えの視覚的な共有

【つかむ】

日本の輸送や貿易について、諸資料をもとに課題を見だし、学習計画を立てる

輸送や貿易は、日本の工業生産をどのように支えているのだろう

【追究する】

日本の交通網や輸出入の特色に着目して、資料を比較・関連付けたりしながら多角的に考察し、表現する

【まとめる】

これまでの学習をもとに輸送や貿易の役割についてまとめ、これからの日本の工業の発展に向けて必要なことを自分なりに考え、発表する

事例の概要

- 教師が一人一人のICT端末に諸資料を送り、児童はそこから得た情報をもとに、個の考えを構築する。
- 構築した個の考えを写真に撮って、学習支援ソフトを通して教師に提出。教師が学習支援ソフトによって学級全体にそれぞれの考えを公開することで、児童は友達の考えを自由に閲覧できるようになり、自分の考えと比較したり関連付けたりする。
- 考えの交流を通じて得られた、新たな視点や気づきを基に自分の考えを再構築し、学習支援ソフトを通して教師に提出する。

【社会・小5・工業生産を支える輸送と貿易】②

【事例におけるICT活用の場面①】

必要な情報のみを切り取って送られた資料をじっくり読み込み、個の考えを構築



着目させたい視点を絞った資料を送付

「日本の貿易にはどのような特色があるだろうか」という問いに対して自分の考えを構築する場面では、学習支援ソフトを使って教師からICT端末に資料を送付。

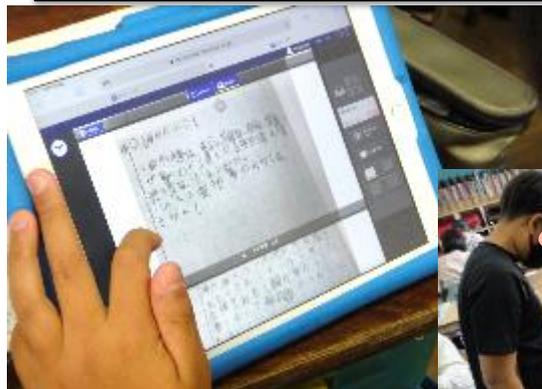
日本の主な貿易港について、それぞれの輸出入割合を示すグラフや各港の周辺写真を手元でじっくり読み取り、違いや共通点に視点を当てながら情報を収集した。

【事例におけるICT活用の場面②】

写真資料は、見たい所を自由自在に拡大することも可能

自分の考えをカメラで撮影

自分と友達の考えを比較・関連付け



全員の考えを瞬時に共有できるので、友達の考えもじっくり吟味。視点の異なる考えの友達と交流活動。

学級全体で考えを共有 自分の考えと比較・関連付け

個の考えは、カメラ機能で撮影して教師が収集。学習支援ソフトで共有して閲覧させることで、全員の考えに触れさせることができていた。自分の考えと比較し、異なる視点をもつ友達と意見交流を行うことで、新たな気付きを取り入れながらよりよい考えの再構築へとつなげた。

【活用したソフトや機能】

○プレゼンテーションソフト

・教師が提示する資料を順序立てて準備。

・大型モニターで全体に資料を提示

○学習支援ソフト

・資料、作品の送付や共有

○カメラ機能